

令和7年11月27日
愛媛大学

アメリカ鉱物学会の Roebling Medal の受賞者に 入船徹男 GRC 教授が決定（記者説明会のご案内）

愛媛大学先端研究院（PIAS）・地球深部ダイナミクス研究センター（GRC）の入船徹男教授・先端研究院長に、アメリカ鉱物学会（Mineralogical Society of America, MSA）の最高賞であるローブリング・メダル（Roebling Medal）が授与されることが決まりました。



つきましては、下記のとおり記者説明会を実施しますので、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：令和7年12月3日（水） 10時30分～

場 所：愛媛大学理学部総合研究棟1 共通会議室（4階）（3枚目参照）

会見者：愛媛大学先端研究院地球深部ダイナミクス研究センター長・教授 土屋卓久
愛媛大学先端研究院地球深部ダイナミクス研究センター・教授 入船徹男

【本件に関する問い合わせ先】

愛媛大学先端研究院地球深部ダイナミクス研究センター（GRC）

教授 入船 徹男（先端研究院長）

電話：089-927-9645

E-mail: irifune.tetsuo.mx@ehime-u.ac.jp



【概要】

アメリカ鉱物学会（MSA）は、1919年にアメリカで設立された、鉱物学や結晶学、地球化学、岩石学などの学術分野の推進と教育活動や産業応用などを促進する学会で、現在、アメリカのみならず世界各国から多くの研究者が参画しています。Roebbling Medal は MSA における最高賞であり、論文発表を主な業績とした上記及び関連分野における卓越研究に対して贈られるものです。

メダルの名称である”Roebbling”とは、100年ほど前、MSAに重要な貢献を果たした技術者・橋梁建設者で鉱物収集家であった Roebbling 氏にちなんでいます。90年近く前の1937年からMSAによる授与が始まり、毎年一人が受賞しています。日本人としては、1968年受賞の伊藤貞一氏、1999年受賞の久城育夫氏（いずれも東大名誉教授・日本学士院会員）に続く3人目です。またこれまでの受賞者の中には、William Lawrence Bragg氏（1948年受賞：1915年物理学賞）、Linus Pauling氏（1967年受賞：1954年化学賞・1962年平和賞）の2名のノーベル賞受賞者も含まれています。

今回の受賞は、入船教授の、1）超高压下における地球のマントルとプレートを構成する鉱物の相転移・密度変化とマントルのダイナミクス、2）放射光X線その場観察による鉱物物性精密測定とマントル中の地震学的不連続面の成因解明、3）超高压下でのナノ多結晶ダイヤモンド及び透明ナノセラミックスの合成と応用、が対象となった研究業績であり、これらの鉱物科学分野における卓越性が評価されたものです。

メダルの授与式ならびに受賞講演は、アメリカのデンバーにて2026年10月に開催されるアメリカ地質学会にて行われる予定です。入船教授は2023年に国際鉱物学連合（IMA）の最高賞であるIMAメダルの受賞者にも選ばれており、同じく2026年8月に中国の南京にて開催される国際鉱物学会で、メダルの授与式ならびに受賞講演が予定されています。鉱物学分野の著名な国際賞である両賞を受賞するのは、カーネギー研究所のRobert M. Hazen氏、ソルボンヌ大学のGeorges Calas氏に続いて世界で3人目、日本人としては初めてです。

【関連 HP】

アメリカ鉱物学会(MSA)ローブリング・メダル

<https://msaweb.org/roebbling/>

愛媛大学先端研究院(PIAS)

<https://www.eu-pias.ehime-u.ac.jp/>

愛媛大学先端研究院 地球深部ダイナミクス研究センター(GRC)

<https://www.grc.ehime-u.ac.jp/>

記者説明会会場：愛媛大学理学部構内総合研究棟1 4階 共通会議室
地図内の赤枠で囲まれた建物です。



法文学部・教育学部・社会共創学部・理学部・工学部

城北キャンパス

〒790-8577 松山市文京町3番 TEL 089-927-9000(代)

アイコン凡例

▲ 出入口 P 駐車場 身体障害者用駐車場 駐輪場 食堂・カフェ

キャンパス内全面禁煙

車の場合、このゲートからお入りください。ゲート横のインターフォンにて取材に来た旨をお伝えください。



J O H O K U
C A M P U S